

株主のみなさまへ

2013年12月期 上半期報告書

2013年1月1日から2013年6月30日

CONTENTS

社長メッセージ 1

財務ハイライト 4

自動車アフターマーケットの全体像 5

ブロードリーフの強み「産業プラットフォーム」 7

特集

持続的成長を実現する戦略 9

新たなマーケティング戦略 9

中国を中心としたアジア展開 11

CSR・環境保全活動 12

会社概要 13

株式メモ 14



社長メッセージ

「感謝と喜び」の心を大切に、
ブロードリーフは産業界の発展に寄与し、
広く社会に貢献してまいります。

代表取締役社長
大山 堅司



ブロードリーフは、2005年12月に創業し、2013年3月に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

創業以来、私たちはお客様の業務に必要なデータベースを組み入れた業務アプリケーションやネットワークを通じたサービスを提供してまいりました。当社のお客様は、自動車アフターマーケット関連事業者（整備事業者、鈑金事業者、自動車部品卸商、リサイクル事業者など）を中心にさまざまな業種、業界に広がっており、その数は3万社以上に及びます。

ブロードリーフの社名の由来は、土壌に支えられている広葉樹です。広葉樹が葉を落として土に還し、土壌を豊かにするのと同じように、これまでお客様にサービスを提供する中で蓄積されたノウハウなどの情報を産業界に養分として還し、お客様に喜んでいただく。そのような循環を作り出す企業となりお客様に恩返ししたいとの思いから、社名を「ブロードリーフ」としました。ブロードリーフは、「感謝と喜び」を企業理念に、人や企業が深く結びつくために欠かせない「心」を大切に、お客様とともに繁栄するビジネスを進めております。

2013年12月期上半期の業績

当上半期（第2四半期累計期間）における国内の経済は、金融緩和をはじめとする経済成長戦略への期待感から円安・株高が進行するなど、景気回復への明るい兆しが見られたものの、海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、依然として景気動向は不透明な状況で推移しました。

当社の属する情報通信業界は、業務システムのグローバル対応、ビッグデータの活用、システム基盤の仮想化やクラウド化など、新たなソフトウェアへの投資が持続的に行われております。また、当社の多くのお客様が属する自動車アフターマーケットは、車検・補修市場を中心に堅調に推移しました。

このような事業環境の中、当上半期の経営成績

は売上高84億68百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益15億39百万円（前年同期比116.0%増）、経常利益14億63百万円（前年同期比121.6%増）、純利益7億27百万円（前年同期比205.4%増）となりました。また、通期では、売上高178億51百万円（前期比14.1%増）、営業利益40億42百万円（前期比91.2%増）、経常利益39億52百万円（前期比94.2%増）、当期純利益20億89百万円（前期比156.3%増）を予想しており、ROEは11.9%（前期5.6%）に向上する見込みです。なお、期末配当金の予想につきましては、配当性向は概ね20%を目処とする基本方針に基づき、1株当たり17.5円としております。

当上半期の取組み

当上半期は「産業プラットフォーム」（詳細はP7-8をご参照ください）上でのお客様企業への事業支援ITサービスの拡大に積極的に取り組みました。具体的には、主力である整備・钣金事業者、自動車部品卸商、リサイクル事業者向けのネットワーク型業務アプリケーションの販売を引き続き強化するとともに、カーオーナーに対する提案力・サービス向上の支援ツールとなる

「CarpodTab（カーポッドタブ）」（詳細はP10をご参照ください）、「BLパーツオーダーシステム」の2つの新サービスのマーケットへの浸透に注力しました。

また、2013年3月には「国際オートアフターマーケットEXPO2013」において、「産業プラットフォーム」を構成する各種商品・ソリューションを出展し、積極的に新サービスの需要喚起を行いました。

持続的成長へ向けて

ブロードリーフは企業価値を高めていくために、業界に根付き、お客様の事業創造を支援する新しい形の情報サービス企業として成長を加速させてまいります。

国内においては、自動車アフターマーケットの「産業プラットフォーム」を拡大すべく、当社提供のネットワークサービスの利用頻度の向上、他社との差別化による新規ユーザーの獲得を通じた業績拡大を目指します。具体的には、「街のカーウンセラー」(詳細はP9-10をご参照ください) をキャッチフレーズとして、当社ユーザー店舗の魅力を分かりやすく訴求し、カーオーナーの来店を促進する、新たなマーケティング戦略を今秋から展開してまいります。また、CarpodTabの浸透へ向けては、2013年7月にJX日鉱日石エネルギー株式会社との開発受託契約を締結するなど、成長が期待できる実績も出てきております。

さらに、当社は2013年9月に、自動車アフターマーケットの新たなビジネス領域を開拓するために、全日本ロータス同友会、株式会社オートバックスセブン、パイオニア株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモと共同で「次世代オートアフタービジネス研究会」を設立しました。

海外においては、当社は日本の自動車アフターマーケットで培ったデータベース構築や業務ノウハウをベースに、アジアを中心とした事業展開を積極的に推進しております。2013年4月には中国北京市に自動車リサイクル企業向け総合コンサルティングを行う合併会社を設立しました。また同年7月には、中国の自動車リサイクル企業などにに向けた販売子会社を合併で設立し、事業展開へ向けて着実に準備を進めております。

ブロードリーフは、お客様を支援し、産業界の発展に寄与し、広く社会に貢献してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

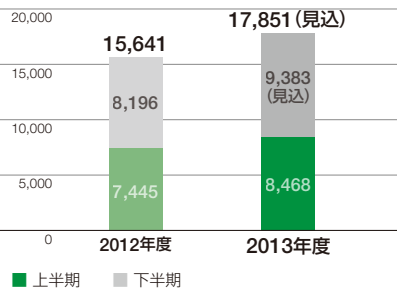
代表取締役社長

大山 堅司

財務ハイライト

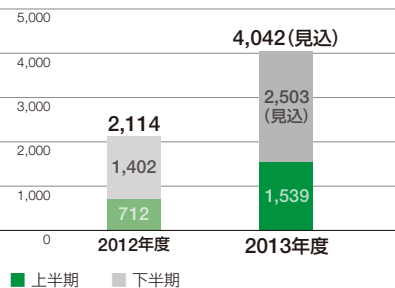
売上高

百万円



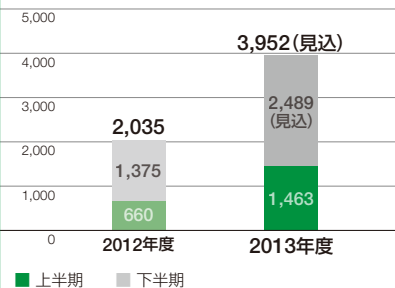
営業利益

百万円



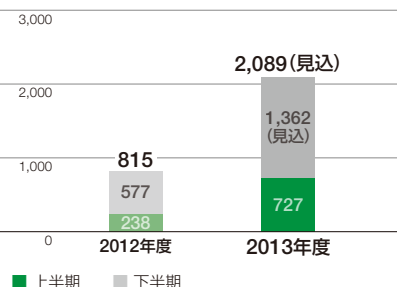
経常利益

百万円



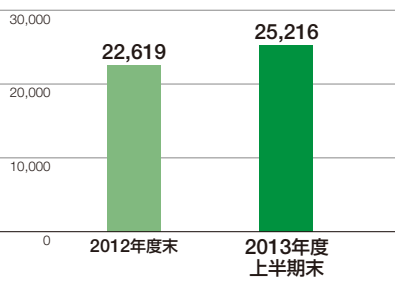
当期純利益

百万円



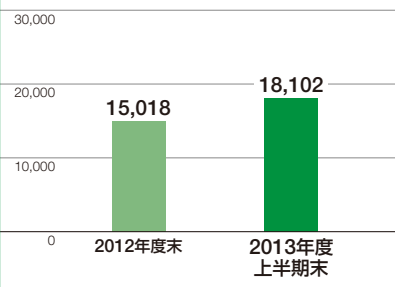
総資産

百万円



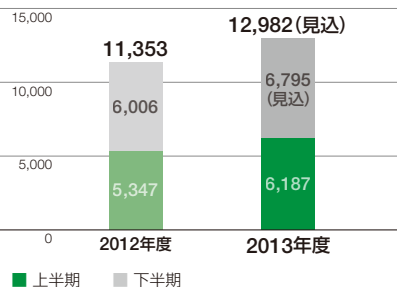
純資産

百万円



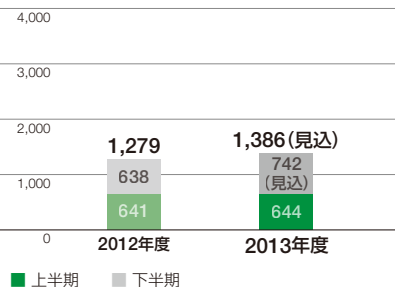
分業別売上高 システム販売

百万円



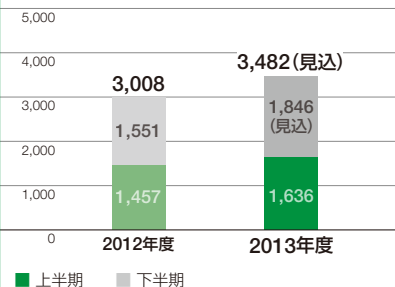
分業別売上高 システムサポート

百万円



分業別売上高 ネットワークサービス

百万円



自動車アフターマーケットの全体像

ブロードリーフは独自の業務アプリケーション、ネットワークサービスとデータベースで約12兆円規模の自動車関連アフターマーケット市場のお客様の業務効率向上と事業創造を支援しています。私たちはカーライフを陰で支える社会になくてはならない存在を目指しています。

自動車販売市場

メーカー新車市場



●ディーラー

生産 (新車)

販売 (新車・中古車)



保有

中古車市場



車販業

- 中古車販売店
- 中古車買取店



中古車

カー
安全で快



廃車



代替

自動車リサイクル市場

リサイクル業者

自動車アフターマーケットとは、自動車を購入してからの、給油、自動車アクセサリーの購入、車検、点検、部品交換、車の売却、廃棄処理などの市場を指します。1台当たりの車齢（新車販売から廃車までの年数）が長くなるなか、自動車の補修需要は高まっています。

自動車アフターマーケット 市場規模 約12兆円



ブロードリーフの強み「産業プラットフォーム」

圧倒的な競争力

ブロードリーフは、整備事業者、鋳金事業者、リサイクル業者、部品商社などが共有できる情報基盤「産業プラットフォーム」を提供しています。複合業務全体を効率化する統合ネットワークシステム「.NSシリーズ」を中心に、分断されていた巨大市場を当社のネットワークで連携して、約3万社のお客様の業務効率化や事業創造を支援しています。



業務で必要不可欠な膨大な数の部品データベースは、
30年に渡って蓄積され、
参入障壁が高い



各業界において 高いシェア を確立

業界における川上から川下までの複数の業種向けアプリケーションを、多くのユーザーへ共通のネットワーク基盤で展開しています。

メーカー

- 優良部品メーカー
- リサイクル業者
- ガラス業者
- 電装業者
- ラジエーター業者 など



リサイクル部品 マーケット

商社

- 自動車部品卸商
- 中古部品商 など



小売

- 整備工場
- 鈑金工場
- カー用品販売店
- ガソリンスタンド など



カーオーナー

業界標準の BLコード

各部品メーカー毎に異なる情報を共通の独自コードにより統一した、業界標準の「BL(ブロードリーフ)コード」

自動車部品流通支援
ネットワークシステム
「PM.NS」



自動車整備ネットワーク
システム「SF.NS」



自動車鈑金見積ネットワーク
システム「BK.NS」



特集 持続的成長を実現する戦略

「街のカーウンセラー」をキャッチフレーズとした新たなマーケティング戦略

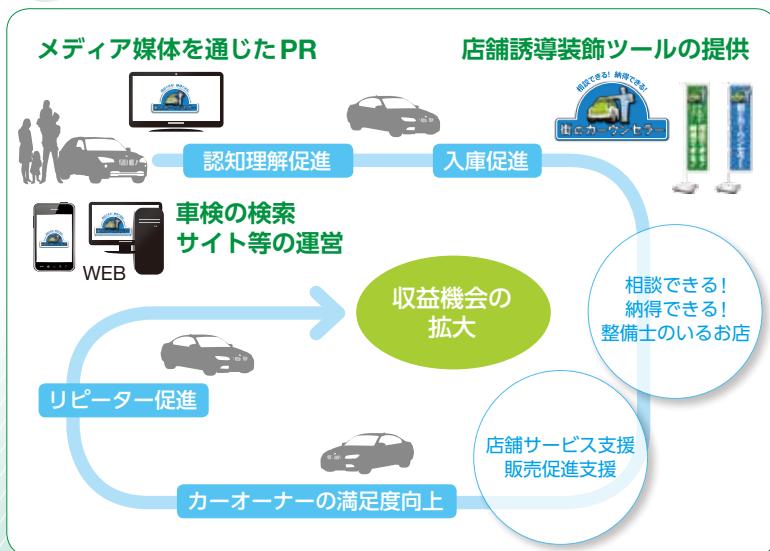
ブロードリーフの顧客である整備工場、钣金工場などが属する自動車アフターマーケットは、自動車保有台数、車検、補修需要等を中心に底堅く推移しています。当社は、強固な産業プラットフォームをベースに、今後自動車アフターマーケットを更に活性化するために、新たなマーケティング戦略を推進します。

具体的には、今秋から、「街のカーウンセラー*」をキャッチフレーズとして、さまざまなメディアやインターネットを通じたプロモーション活動や店舗誘導装飾ツールの提供などにより、当社ユーザー店舗の魅力を分かりやすくカーオーナーに訴求し、ユーザーにとって課題であった集客を支援します。また、当社ユーザーに対して各種研修を通じ

カーウンセラーのいるお店の特徴



新たなマーケティング戦略





街のカーウンセラーロゴ



こののぼりが
目印です!

店舗誘導装飾ツール

てIT活用を中心としたサービス向上を支援し、カーオーナーの満足度向上、リピーター化を促進します。

ブロードリーフは、当社ユーザーがカーオーナーに対して、お待たせせずに分かりやすい自動車整備等の提案ができるネットワークサービスや、タブレット型業務支援ツールCarpodTabを提供しております。当社は、新たなマーケティング戦略を推進し、これらのITサービスを

利用しているユーザー店舗とカーオーナーの架け橋となります。これにより、当社提供のネットワークサービスの加速度的な利用頻度の向上と、他社との差別化による新規ユーザーの獲得を通じた業績拡大を目指します。

*「カー(車)」と「カウンセラー(相談員)」をかけた造語

分かりやすい説明で「カーオーナー」の満足度向上を支援するタブレット端末 「CarpodTab」

当社は、カーオーナーが整備事業者を訪れた際に、接客、見積りの作成、ご提案までをスムーズに進めることができるタブレット端末用の業務支援ツール「CarpodTab (カーポッドタブ)」を発売しています。

「CarpodTab」により、当社ユーザー店舗は、例えば車検のためにカーオーナーがご来店の際、簡単に顧客情報、所有している自動車の情報、過去の整備履歴などを照会できます。また、リアルタイムで部品在庫を確認した上で、顧客ニーズに適した車検提案書の迅速な作成や、動画や静止画コンテンツを用いたカーオーナーへの分かりやすい説明が可能となります。

さらに、車の修理の際に、カーオーナーに対して保険を利用した場合の保険金額の上昇をシミュレーションし、どちらがお得かを提案できるサービスなど、新たな機能を順次付加しています。

簡単な操作でカーオーナー
への分かりやすい説明・提案
が可能に



大きな市場拡大が予想される中国を中心としたアジア展開

アジア市場への展開

ブロードリーフは新たな市場創造に向け、さまざまな戦略の推進を行っています。その戦略の1つとして中国を中心としたアジア展開があります。

アジア市場では、自動車販売台数が伸長しており、自動車アフターマーケット市場の拡大だけでなく、環境問題へ

の意識の高まりから、整備・修理需要やリサイクル部品市場の形成・拡大が予想されています。また、インターネットインフラの整備が急速に進んでおり、事業拡大への大きなチャンスがあります。当社では、アジアを重点領域として海外進出を加速していきます。

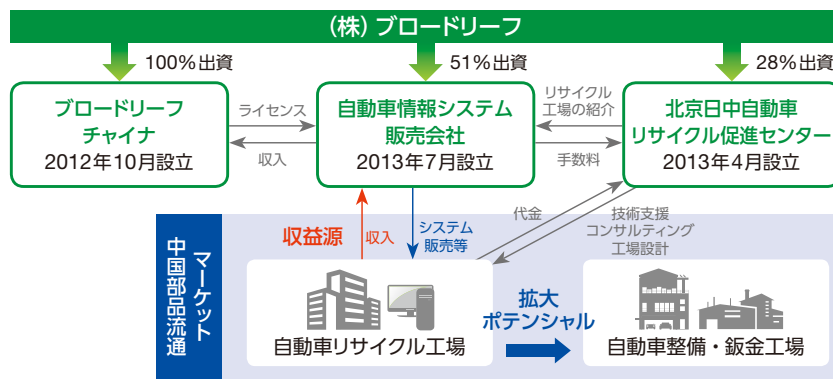
中国での事業展開

アジア諸国の中でも、とりわけ、自動車保有台数が世界第2位となった中国は自動車アフターマーケットの拡大が予想されます。当社は、2013年4月に中国北京市に自動車リサイクル企業向け総合コンサルティングを行う合併会社を設立、同年7月に、中国の自動車リサイクル企業などに向けた販売子会社を設立し、拡大する市場における早期のシステム販売を目指しています。

ブロードリーフは、アジア各国で日本の自動車アフターマーケットで

培ったデータベース構築ノウハウと開発力を活用しながら、事業の浸透・拡大を図っていきます。

中国での子会社設立と事業展開



CSR・環境保全活動

ブロードリーフの事業は、車の安全性や地球環境への負荷など、社会に大きな影響を与える自動車産業に、深く関わっています。当社では、社会の持続的発展に取り組むことを重要な経営課題と位置付けており、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えするCSR活動、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

● 環境保全活動

企業参加型プロジェクト「Grow Leaf プロジェクト」

ブロードリーフは、企業参加型の環境保全プロジェクト「Grow Leaf (グロリーフ) プロジェクト」を行っています。これは、1社だけではなし得ないような地球環境への貢献を、お客様や各種お取引様をはじめ、多くの企業との協働で行う環境保全活動です。

代表例として、NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する「プレゼントツリー」への協力があります。この

プロジェクトは、森林伐採や山火事、風倒被害などにより失われた森林の再生を必要とする国内外の土地に、植林活動を推進するもので、2008年に開始し、3万本の植林を目標としています。植えられた樹木は、シリアルナンバーで1本1本識別管理され、森林となるまで長期にわたって保育管理されます。やがて森となって未来の地球へと受け継がれていきます。

● 文化・協賛活動

「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」ミュージカル公演への協賛

当社は2008年よりキッズミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」への協賛・来場促進を行っています。100万部を超えるベストセラー絵本「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」を、ファンタジックで美しい“いのち”の物語として舞台化したもので、このミュージカルを通じて、命と環境の大切さを後世に伝えていければと考えています。

2013年は東京証券取引所第一部への株式上場を記念し、東京・大阪・仙台・広島・福岡の5都市での買収

公演を主催しました。仙台公演においては、被災地支援の一環として、宮城県その他の地域から多くの子供たちを招待しました。



「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」

名称 株式会社ブロードリーフ

創業 2005年12月

設立 2009年9月

上場 2013年3月
東京証券取引所第一部（コード：3673）

資本金 6,793百万円（2013年6月末現在）

役員

代表取締役社長	大 山 堅 司
取締役執行役員	小 島 明
取締役執行役員	山 中 健 一
取締役（社外）	川 原 浩
取締役（社外）	鬼 澤 盛 夫
常勤監査役	青 木 伸 也
常勤監査役（社外）	加 来 英 彦
監査役（社外）	久保田 幸 雄

本社所在地 東京都品川区東品川4-13-14
グラスキューブ品川8F

TEL 03-5781-3100（代表）

URL <http://www.broadleaf.co.jp/>

事業所 営業・サポートネットワーク：全国35拠点
（2013年6月末現在）

事業内容 自動車アフターマーケット向けの業種特化型の業務アプリケーションの開発・販売、ネットワークサービス、保守等
その他、携帯電話の販売管理や旅行業の営業支援ネットワークシステムの開発・販売

株式の状況（2013年6月末現在）

発行可能株式数 80,000,000株

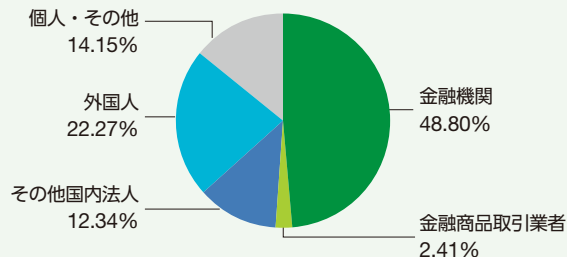
発行済株式総数 24,802,900株

株主数 4,262名

大株主の状況（2013年6月末現在）

氏名又は名称	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)	所有株式数 (千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	20.24	5,020
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	12.44	3,086
株式会社オートバックスセブン	9.65	2,394
ゴールドマンサックスインターナショナル （常任代理人ゴールドマン・サックス証券株式会社）	5.24	1,300
日本生命保険相互会社 特別勘定年金口	4.78	1,186
ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン （インターナショナル）リミテッド 131800 （常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部）	3.18	788
野村信託銀行株式会社（投信口）	3.11	771
クレディ・スイス・セキュリティーズ（ユーエスエー） エルエルシー エスピーシーエル フォー イーエックスシーエル、ビーイーエヌ （常任代理人クレディ・スイス証券株式会社）	2.25	557
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019 （常任代理人香港上海銀行東京支店 カストディ業務部）	2.06	510
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	1.29	321

所有者別株式分布状況



証券コード	3673
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年12月31日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

同連絡先・郵便物送付先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

各種事務手続き

詳しくは、ホームページにてご確認ください。
<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>



株式会社ブロードリーフ

〒140-0002

東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F

<http://www.broadleaf.co.jp/>



この冊子は、適切に管理された森林で生産された木材を原料に含む「FSC®認証紙」および、印刷用インキに含まれる石油系溶剤の一部を植物油に替えた「植物油インキ」を使用し、印刷工程において水を全く使用しない「水なし印刷」で印刷しています。